

出前講座「コンデンサってなんだ？」

日時：平成28年9月28日

場所：豊橋市立つつじヶ丘小学校

対象者：6年生 3クラス

豊橋市立つつじヶ丘小学校において、6年生3クラスを対象に、大平 孝センター長が「コンデンサ」をテーマに理科の出前講座を行いました。

最初に「コンデンサとは何でしょう」という質問からはじまった授業は、その仕組み・働きについて子どもたちとコミュニケーションをとりながら進められました。授業はさらに「コンデンサ」から「電波について」、「電波」から「ワイヤレスについて」と少し難しい内容にも触れていきました。小学生ならではの発想力豊かな発言に対して、一つ一つ丁寧に受け止める大平センター長の姿に、最初緊張していた子ども達も徐々に緊張が解れていきました。

授業の最後に、電池の入っていない電気自動車（おもちゃ）と電化道路の動態実験を行いました。この電気自動車には電池が入っていませんしワイヤーで繋がれてもいないので、ぱっと見は電気自動車に電気を送り込むことが出来ない状況です。ところが、子ども達がスイッチを押すとその電気自動車のタイヤが動きました。その様子を間近で見た子ども達は「なんでだろう？」と驚いていました。

実験を行う前（もしくは実験中）、大平センター長から子ども達に「この実験では、コンデンサが使われています。どこでしょうか」と質問をしました。「コンデンサはどこだろう」と真剣にコンデンサを探していた子ども達は、実験終了後、大平センター長から「コンデンサはこれです」と見せられた道路に驚きの様子でした。「この道路からタイヤを介して電気が送られます」と大平センター長が説明すると、子ども達から「なるほど」と納得した声があがりました。

つつじヶ丘小学校6年生のみなさん、出前講座はいかがでしたでしょうか。これを機会に科学の世界に興味をもっていただけると幸いです。

